



NO.532

# ワンクリック詐欺に注意!

最近また、インターネットにおけるワンクリック詐欺の相談が多く寄せられています。

## 相談 スマートフォンで無料アダルトサイトを検索し、年齢確認のボタンをタップすると「登録完了」と表示された。

慌てて「誤作動の場合はこちら」と書かれた電話番号に電話を掛け、勝手に登録されたと言った「誤作動ではなく契約は成立している」と言われ、40万円請求された。お金がないと言った「今日中ならキャンペーン価格で20万円にする」と言われた。支払うしかないのか。

このようにサイト上で、年齢確認ボタンや画像の部分をタップしただけで「登録ありがとっさいます」などと表示し、契約が成立したように思わせ、利用料金を請求する手口がワンクリック詐欺です。アダルトサイトや出会い系サイトに多いのが特徴です。

インターネットでの契約は、操作ミスによるトラブルが多発したため、電子消費者契約法で、契約内容の確認画面の表示が義務付けられています。消費者の申込み内容(商品名・個数・金額・送付先など)を表示し、それを訂正やキャンセル

消費生活センター(ステーションNビル3階) ☎753・5555

ルできるような措置を講じていない契約は無効とされています。  
事例の場合も、確認画面はなく、年齢確認ボタンをタップしただけでは契約は成立していません。支払いに応じる必要はなく、今後の請求電話は無視するよう助言しました。  
プロバイダ情報やIPアドレスなど、使用している端末情報の一部を画面に表示し、個人情報が取られたと誤解させて不安をおおるケースもあります。サイトに接続しただけでは個人を特定されることはありません。電話を掛けると、相手は個人情報を手元に聞かすので、絶対に連絡してはいけません。  
この他にも、ボタンをタップする際、不正プログラムが侵入し、請求画面が消えないという被害もあります。パソコン・スマートフォンなどにより、対処方法が違います。IPA(独立行政法人情報処理推進機構)のホームページに手口や対処方法が紹介されているので参照ください。



IPAホームページはこちら



## Q この症状は更年期障害ですか?

A 最近、体がだるいなあ、頭も重いなあ。そういえば、のどに何か引っかかる気がする。関節が痛い、皮膚がむずむずする。夜も眠りにくくなったなあ。

これらは全て、更年期症状の可能性があります。更年期症状としてよく知られているのは、「のぼせ」「ほてり」「発汗」ですが、ホルモンの低下が原因で引き起こされるため、人によりさまざまな症状が出るといわれています。

ここですまず、知っておきたい言葉の説明です。

「閉経」とは、卵巣の活動性が低下し、月経が来ない状態が12カ月以上続いた時に診断されます。日本人の平均閉経年齢は約50歳ですが、個人差が大きく、

早い人では40歳台前半、遅い人では50歳台後半に閉経を迎えます。この時期には、ホルモンの変化だけでなく、社会的な変化や環境の変化などが複合的に重なることが多く、「更年期症状」発症の引き金になるといわれています。

「更年期」とは、閉経前の5年間と閉経後の5年間とを合わせた10年間をいいます。更年期に現れるさまざまな症状を「更年期症状」といい、その中で日常生活に支障を来す状態を「更年期障害」といいます。これらの言葉の理解は、自身の体に起こる変化を理解するのに重要です。

更年期障害の特徴の一つは症状が多彩なこと。症状は、倦怠感や肩こり、物忘れなどで、実は首より上に汗をかくホットフラッシュよりも、これらの頻度は高くなっています。実際の診療では、これらが他の病気による症状ではないことを確認する必要があります。人により症状はさまざまで、診療により隠れた病気が見つかることがあります。治療法は漢方治療やプラセンタ治療、不足しているホルモンを補充する治療など、症状や重症度により異なります。気になる症状があれば、まずは産婦人科を受診するのがよいのではないのでしょうか。

池田市医師会